



フナはどうやって飼えばいいの

フナはキンギョと同じ仲間

キンギョの先祖は、フナですから、飼い方は、キンギョと同じです。川や池でつってきたフナを飼う場合は、病気の菌や寄生虫などがついていていることが多いので、いきなり、飼っているキンギョの水そうなどに、入れないようにしましょう。2～3日、別な容器で飼って様子を見、元気で変化がなければ、水そうに移します。

フナは人間になれにくく、ちょっとしたことにもおどろいて動き回ります。水そうに、中にもぐれるプラスチックの管や、石を並べて、かくれ家を作ってやりましょう。

えさは5分ぐらいで食べ終わる量

フナの仲間には、えさは少しずつ、あたえます。5分ぐらいで食べ終わる量が1回分と考えましょう。えさは、イトミミズやアカムシ、ミジンコなどが好きです。少しなれてきたら、売っているキンギョのえさでもよいし、パンくず、ごはん、小さく切ったうどんなども食べます。食べ残しのないようにあたえましょう。食べ残しは、大きいスポイトなどで、吸い出します。

水かえは、水のごりぐあいをみて

水そうの底の方から、半分ぐらいの量の水や、よごれを吸い出し、水そうの水と同じ温度にした、新しい水（くみ置きした水道水）を足してやります。（監修・安部 義孝）

